実地研修プログラム 大阪府地域生活定着支援センター(第1回)

研修のアピールポイント

18目

2日目

3日目

センターの特徴

- センター発信で様々な「アクション」を起こすことで、 地域や司法機関との具体的な「協働」に繋げる取組みを多数実施。多領域の関係者とネットワークを構築している
- センター職員一人ひとりの 強みを生かすチームづくり を実践。情報共有や面 談、研修方法等も工夫

官民協働の実践

- 啓発活動、意見交換会、 研修企画・運営などの「アクション」を起こし、被疑者 等支援会議への参加や 居住支援協議会との連 携など、「協働」に繋げている
- 入口支援では、毎月の被 疑者等支援コア会議およ び隔月の全体会議を通し て協力体制を構築

オリエンテーション:法人の成立 ちや理念、課題、目指す方向 性等

I.官民協働:

ネットワーク構築の手法

地域の福祉事業所や市町村 行政等とのネットワーク構築を目 指す研修企画・運営について説 明

Ⅱ.援助技術:

フォローアップ業務の効率化 @大阪法務少年支援センター 法務少年支援センターの「地域 援助」を活用したカンファレンスに 参加

Ⅱ.援助技術:

フォローアップ業務の効率化 「GOGO OT NET/作業療法士によるオンライン作業療法」の目的や支援効果等をセンターとOT双方から説明。実ケースを

Ⅲ.事務業務:組織運営について

朝礼に参加し日々の組織運営を見学。業務分担や SV仕組み等、組織マネジメントを説明

Ⅱ.援助技術:対象者面談の工夫

@大阪保護観察所

少年とのテレビ面談の様子を見学し、関係性の構築 方法や面談の工夫について説明

I.官民協働:保護観察所との連携方法

@大阪保護観察所

信頼関係と連携体制を構築してきた経過を、観察 所職員及び定着センター各立場から説明

I.官民協働:**重層訪問巡回への同行**

@箕面市総合保健福祉センター

重層担当者・府地域 福祉課・保護観察所 統括観察官が集う、 意見交換会に同席。 定着事業の啓発や市 町村の課題キャッチ、



今後の連携糸口を探る場面に立ち会う

ブレスト:受講者の課題についてブレインストーミング

Ⅲ.事務業務:**朝礼**研修を振返り 大阪ヤンター全職員と学びの共有

I.官民協働:

被疑者等支援業務のスキーム作り 入口支援の経過及び被疑者等支

スロス族の絵画及い放衆有等文 援業務のスキーム作りや現状を説明

I.官民協働:

検察庁再犯防止対策室、保護観察所、弁護士会、大阪府地域福祉 課による個別ケース検討会に同席



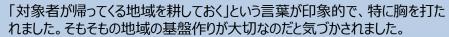
実地研修3日間の振り返り (以降、自由参加)

Ⅰ.官民協働:性について考える研

修会「串カツの会」

ネットワーク構築手法の実践を見学

受講者の声



見学



